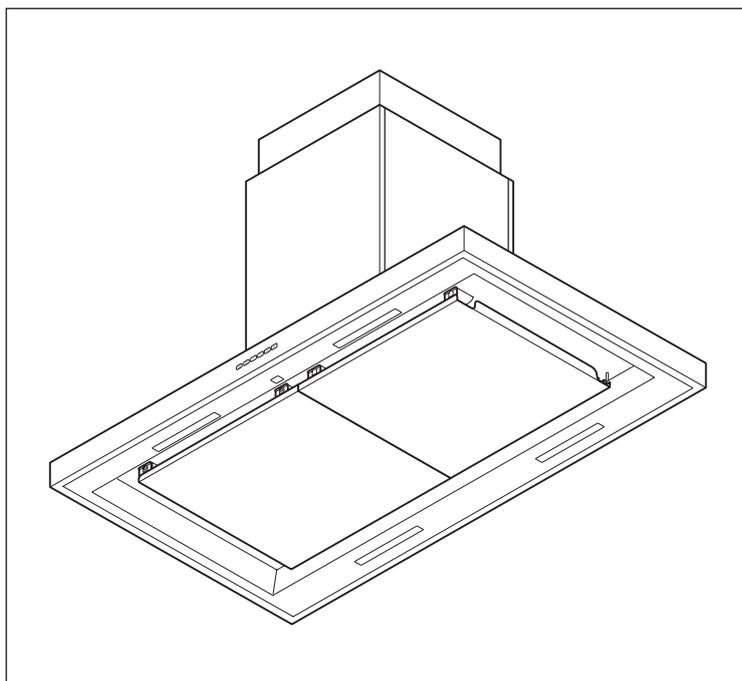


レンジフード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2 ~ 3
取り付け上のご願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5 ~ 6
付属品.....	6
各部のなまえ.....	7
製品寸法図.....	7
取り付けかた.....	8 ~ 19
1. 付属品の確認.....	8
2. 取付準備.....	9 ~ 10
3. フード・本体の準備.....	11 ~ 12
4. 本体の取り付け.....	12 ~ 17
5. 電気配線.....	17
6. 運転準備.....	18
7. 試運転.....	19
8. お客様への説明.....	19

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1B03 B381



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



⊘ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



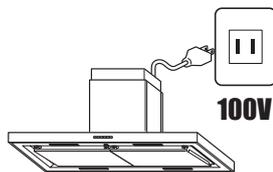
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



アースを
取り付け

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令) および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

安全上のご注意

警告



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください
火災・故障の原因になります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

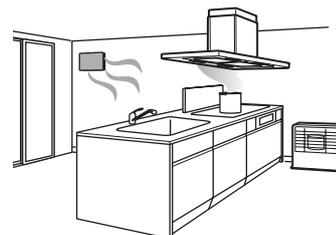
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

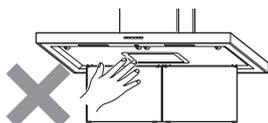
火災・故障の原因になります



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

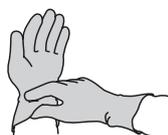
けがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

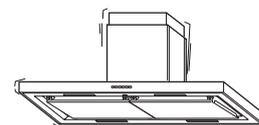
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと

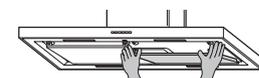
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

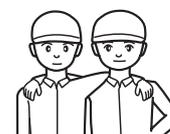
- 部品の取り付けは確実に起こすこと

落下によりけがをするおそれがあります



取扱注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
レンジフードは約 43kg の重さがあります



取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

- **管工事**

- 【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- **ダクトの不燃処理について**

- ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

- **調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。**

調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

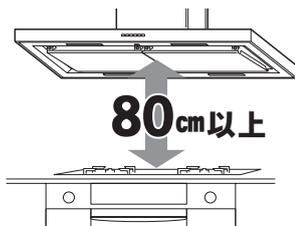
- **屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。**

防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

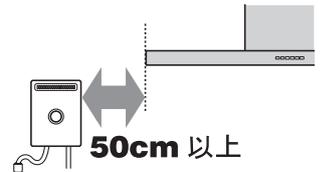
- **非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。**

- **レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。**

なお、レンジフード取付高さは、レンジフード前面の下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。

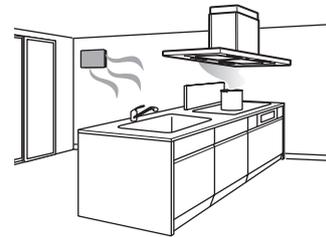


- **レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。**



- **製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。**

- **部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。**



- **建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。**

- **寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。**

- **ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：1/100 ~ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。**

- **汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。**

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令) および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けのこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください

火災・故障の原因になります

注意



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

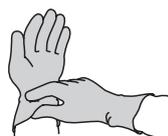
火災・故障の原因になります



手袋をする

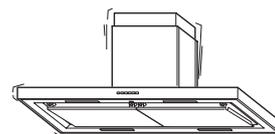
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取り付け前の調査と準備

1 取付箇所の強度確認

製品質量	43 kg
------	-------

製品を支える強さが必要です。

レンジフードの本体は M10 または M12 の吊りボルト 4 本を使用し、天井内の梁などへ取り付けます。

※ 吊りボルトは、製品を支える十分な強さを確保してください。

必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

2 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフード前面の下端まで 80cm 以上です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

4 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)

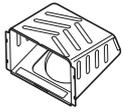
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

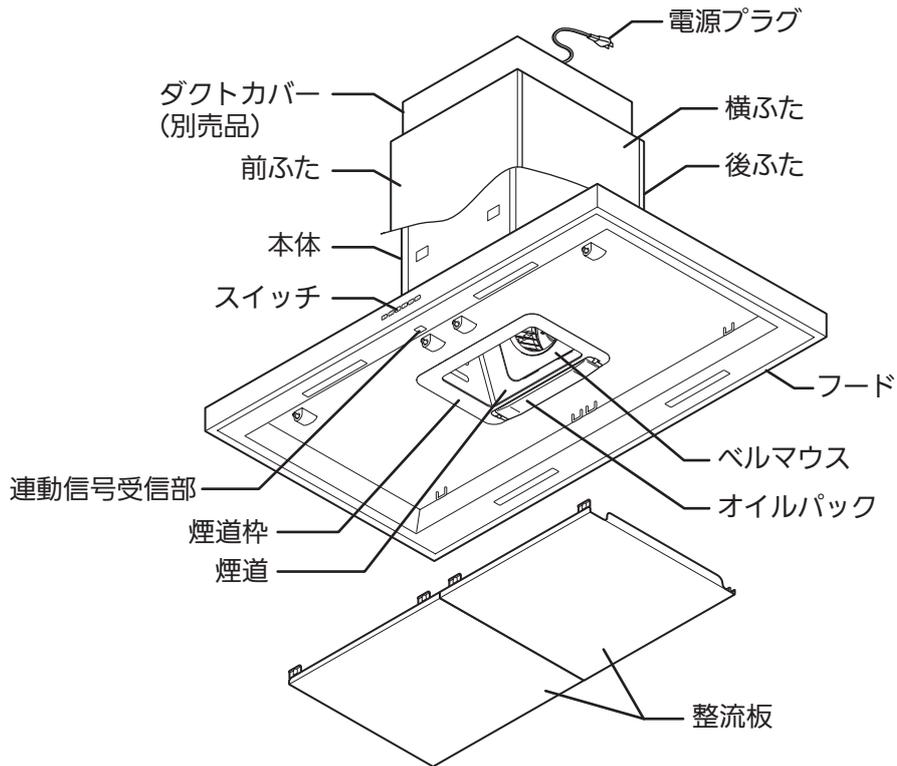
設置位置は「2. 取付準備」手順 1 (10 ページ) を参照してください。

必ずアース工事 (D 種接地工事) をしてください。レンジフードが誤作動するおそれがあります。

付属品

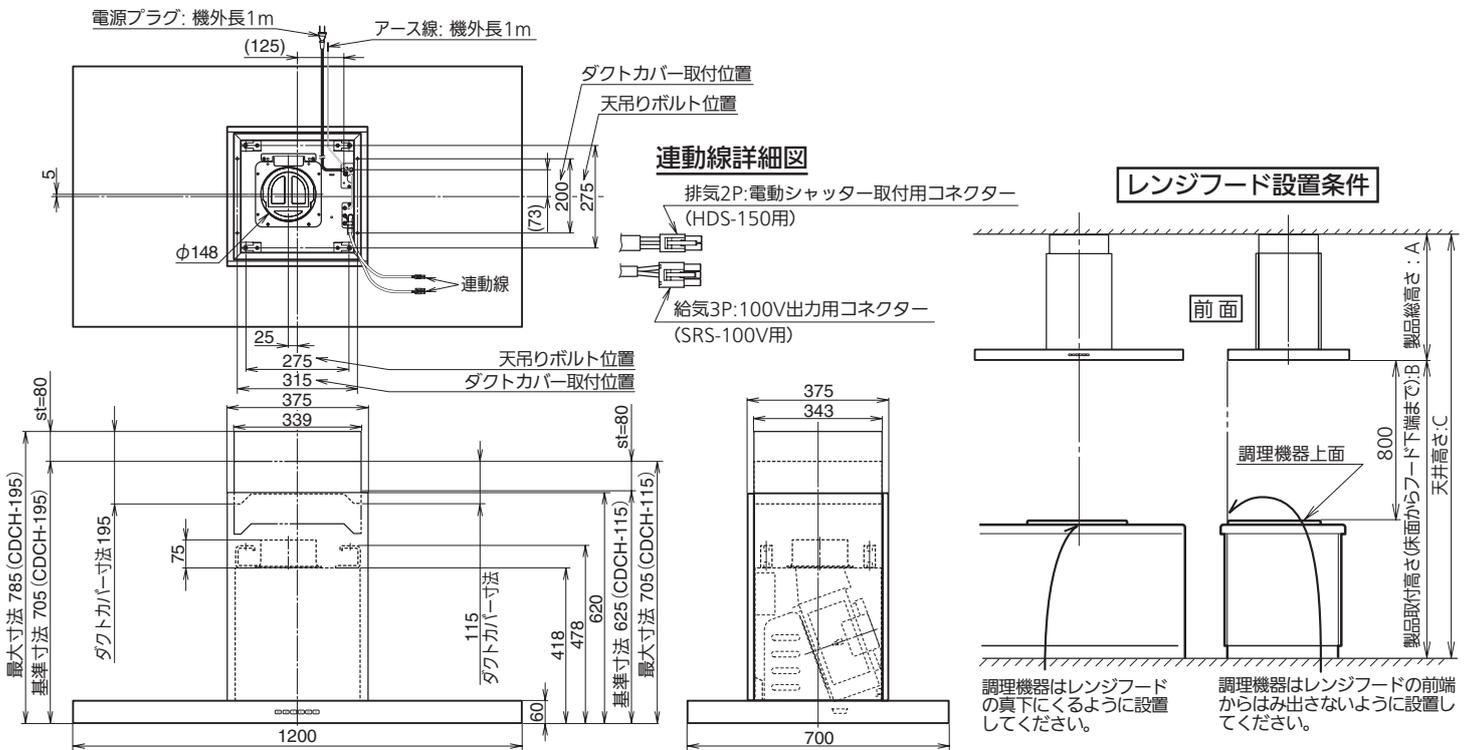
	トラスねじ (M4×10) 13 本	煙道およびフードの取り付けに使います。
	トラスねじ (M5×12) 4 本	フードの取り付けに使います。
	煙道 1 個	本体内部に取り付けます。
	ベルマウス 1 個	(煙道にテープで固定されています。) 本体内部に取り付けます。
	固定金具 1 個	フードと本体の固定に使います。
	ソフトテープ 1 本	排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。

各部のなまえ



製品寸法図

(単位: mm)



注意 調理機器設置高さ天井高さの関係により、このレンジフードが設置できない場合があります。下表の製品取付高さ天井高さから適切なダクトカバーを選択してください。

ダクトカバー品番	製品高さ	設置寸法(例)		ダクトカバー品番	製品高さ	設置寸法(例)	
		製品取付高さ: B	天井高さ: C			製品取付高さ: B	天井高さ: C
CDCH-115*	625~705	1600	2225~2305	CDCH-195*	705~785	1600	2305~2385
		1650	2275~2355			1650	2355~2435
		1700	2325~2405			1700	2405~2485
		1750	2375~2455			1750	2455~2535
		1800	2425~2505			1800	2505~2585

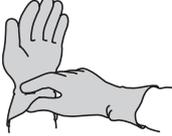
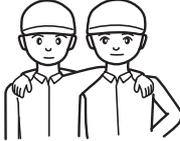
ダクトカバー型名の「」には色記号が入ります。

※ 上記の設置寸法は一例です。上記以外の設置寸法の場合は、製品寸法図を参考にして、ダクトカバーを選定・調整してください。

取り付けかた

1. 付属品の確認

**注意**

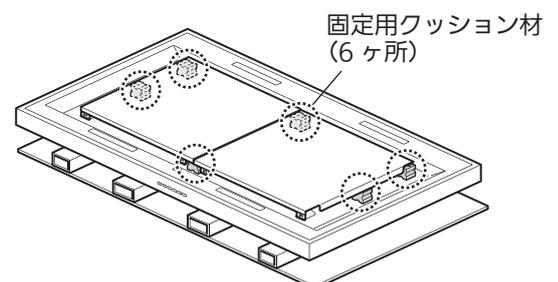
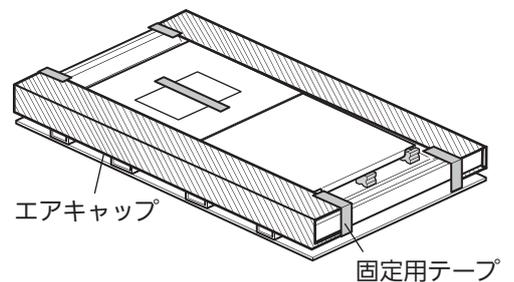
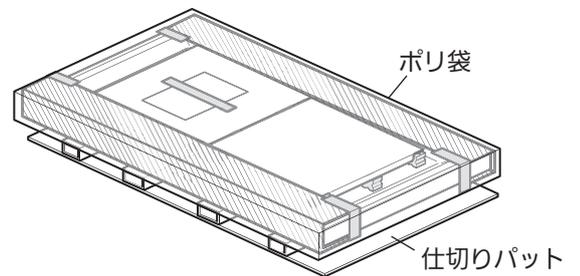
 手袋をする	<ul style="list-style-type: none">● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがを おそれがあります	
 取扱注意	<ul style="list-style-type: none">● 作業は2人以上でおこなうこと レンジフードは約 43kg の重さ があります	

1 梱包箱を開梱し、梱包材にテープで貼り付けられている取付説明書を取りはずします。

2 梱包箱から付属品を取り出し、本書の付属品一覧（6 ページ）により不足がないか確認します。

お願い

- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ エアキャップはキズ・破損防止のため、取付作業後に再度取り付けてお客様へお引き渡しください。
- ・ 整流板をはずす際は、固定用クッション材（6ヶ所）をはずしてください。



取り付けかた

2. 取付準備

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

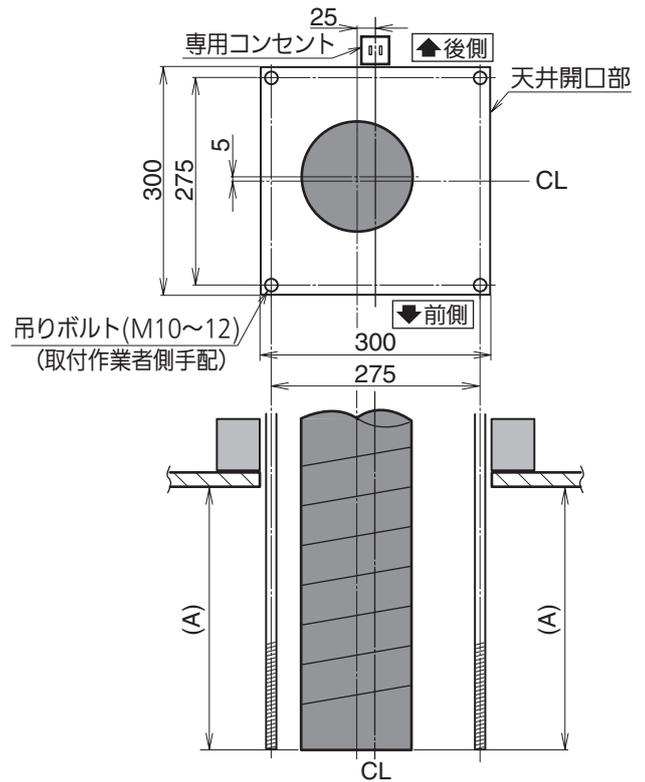
取り付けかた

1 右図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。

また、天井開口部近くの補強枠または野縁等に専用コンセントを設置します。

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。

3 M10 ～ 12 の吊りボルト（取付作業側手配）を4本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは前後、左右とも 275mm です。



お願い

天井面からのダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A) は、製品総高さ（範囲：625 ～ 785mm）により異なります。製品寸法図を参考にして、次式により算出してください。

$$\text{ダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A)} \pm 10 = \text{「製品総高さ」} - 455$$

例)

製品総高さ	ダクトと吊りボルトの突き出し長さ (A)
625	170±10
705	250±10
785	330±10

※「製品総高さ」寸法は、「使用するダクトカバー（別売部品）」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によって異なります。製品寸法図欄のレンジフード設置条件を参考にして決定してください。

取り付けかた

3. フード・本体の準備

お願い

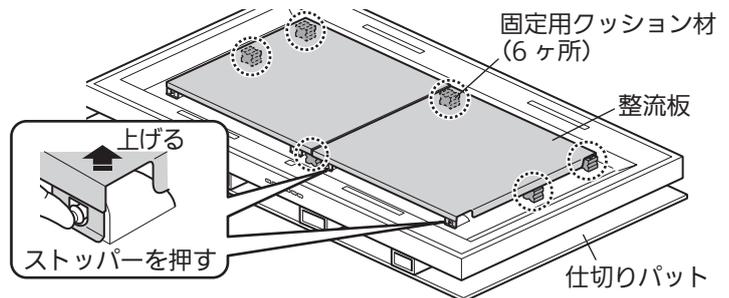
- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- ・はずした部品は変形させないよう、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。
- ・金具の変形防止のため、右図のように必ず仕切りパットの上にフードを置いて作業してください。

フードの準備

1 整流板をはずします。

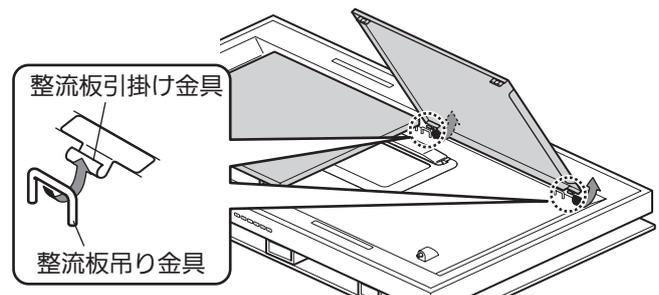
- 1) 固定用クッション材(6ヶ所)をはずし、整流板の前面左右にあるストッパーを押してはずします。

※ 整流板をはずす際は、オイルパネルにキズが付かないよう注意してください。

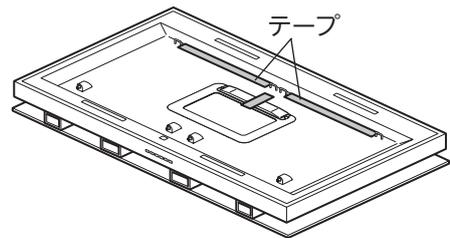


- 2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと開き、後ろを持ち上げて整流板吊り金具からはずします。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
金具の変形の原因になります。

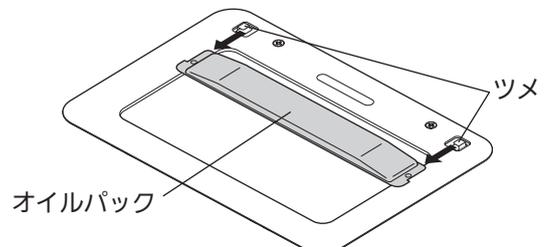


- 3) 整流板をはずした後、オイルパネルのテープ(2ヶ所)をはがします。



2 オイルパックをはずします。

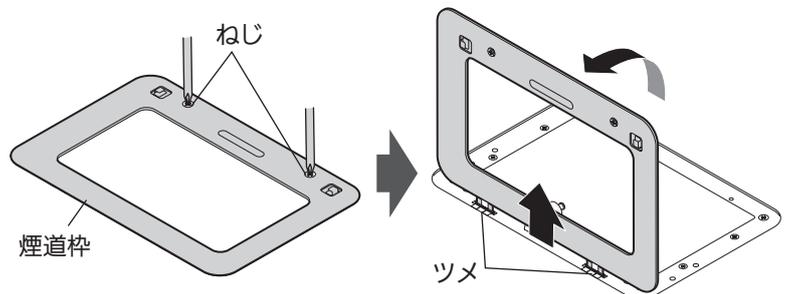
- 1) テープをはがします。
- 2) オイルパックの両端を持って手前に引き、ツメからはずします。



3 煙道枠をはずします。

- 1) 煙道枠を固定している2ヶ所のねじをゆるめます(ねじははずれません)。

- 2) ゆるめたねじ側をゆっくりと持ち上げ、反対側にある2ヶ所のツメをはずします。



取り付けかた

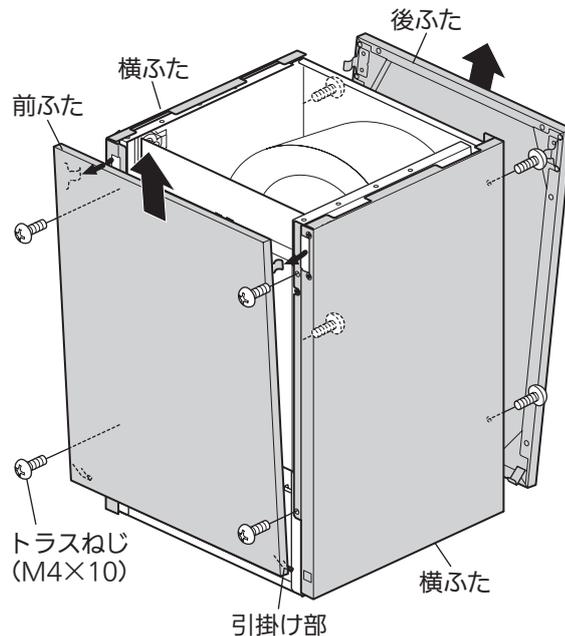
■ 本体の準備

- 1** 前ふた・後ふたをはずします。
前ふた・後ふたの上端を手前に引いてはずし、前ふた・後ふたを持ち上げて、下端の引掛け部を横ふたからはずします。

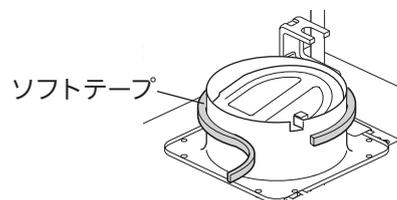
- 2** 横ふたをはずします。
※ 両側ともはずしかたは同じです。

横ふたを固定しているトラスねじ (M4 × 10) 8本をはずし、横ふたをはずします。

※ 取りはずしたねじは「6. 運転準備」手順 1 (18 ページ) にて再度使用しますので、なくさないでください。



- 3** ソフトテープを貼り付けます。
本体を反転し、排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。



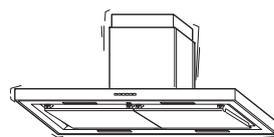
4. 本体の取り付け

⚠ 注意



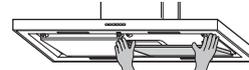
取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取り付けかた

1 レンジフードの固定位置を決めます。

1) 右図を参考にして、次式によりマーカ位置(X)の値を算出してください。

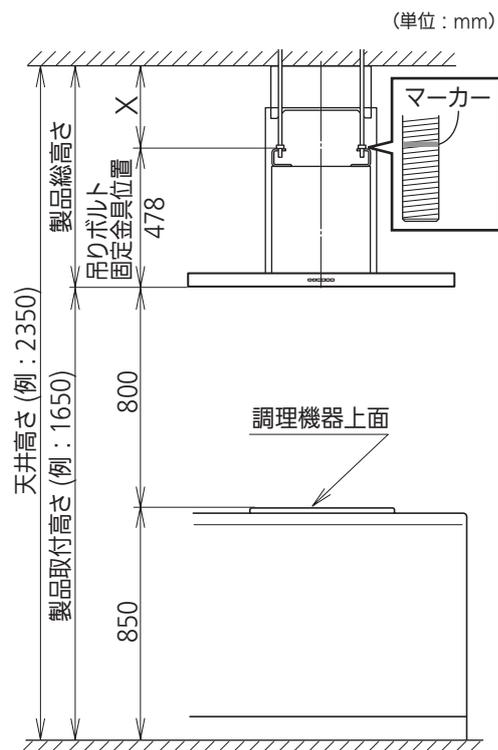
$$X = \text{「天井高さ」} - (\text{「床から調理機器上面までの高さ」} + 800 + 478)$$

例：天井高さが2350mm、床から調理機器上面までの高さが850mmの場合

$$X = 2350 - (850 + 800 + 478)$$

天井からのマーカ位置(X)は222mmとなります。

2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井からXの値の位置にマーカをつけます。

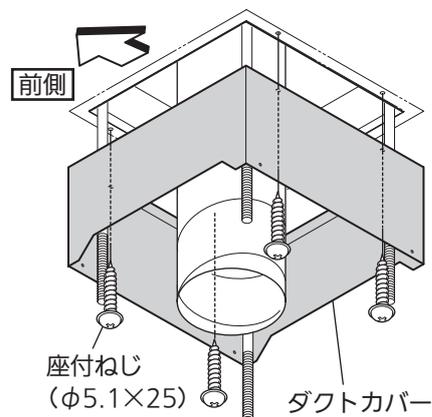


2 ダクトカバー（別売部品）を取り付けます。

ダクトカバーに付属の座付ねじ(φ5.1×25)4本でダクトカバーを天井面に固定します。

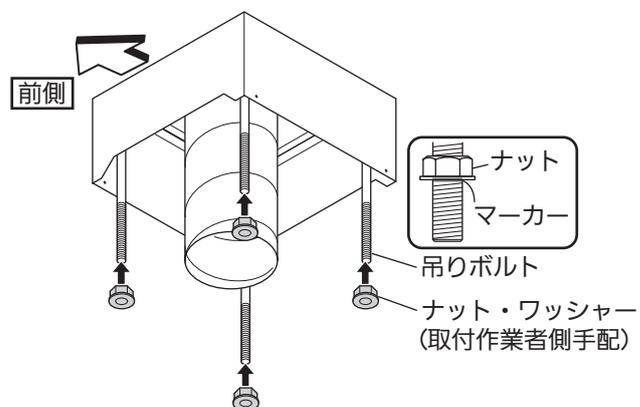
お願い

切り欠きのある面をレンジフードの前後方向にしてください。向きを間違えると本体との固定ができなくなります。



3 吊りボルトにナットを取り付けます。

M10～12のナットおよびワッシャー（取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置まで差し込みます。



取り付けかた

4 本体を吊りボルトに固定します。

- 1) 本体を持ち上げ、取り付けたダクトカバーに本体両脇のガイドを差し込みながら、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込みます (①)。
- 2) 吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側から M10 ~ 12 のワッシャーおよびナット (取付作業側手配) でしっかりと締め付けます (②)。

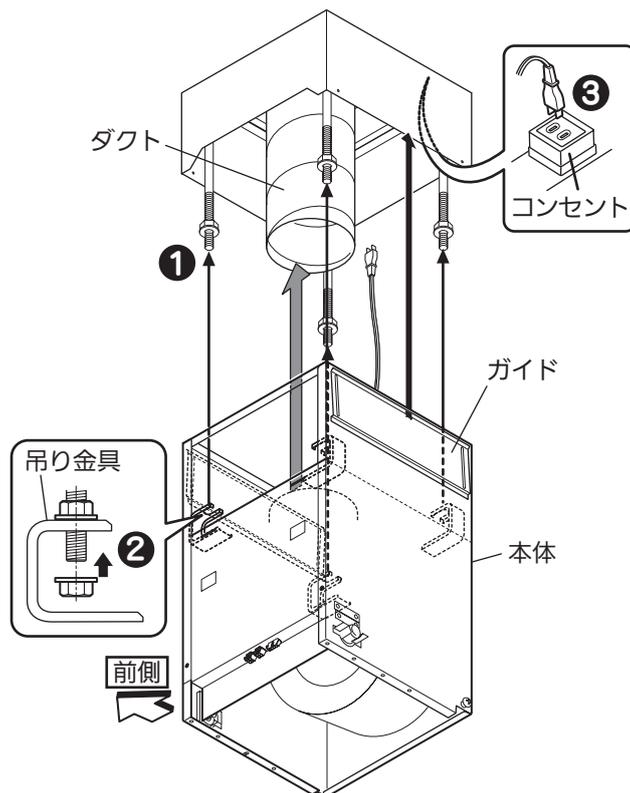
お願い

ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

- 3) 「5. 電気配線」(17 ページ) を一読してから、電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込みます (③)。

※ 必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

※ アース (D 種接地工事) を取り付けます。

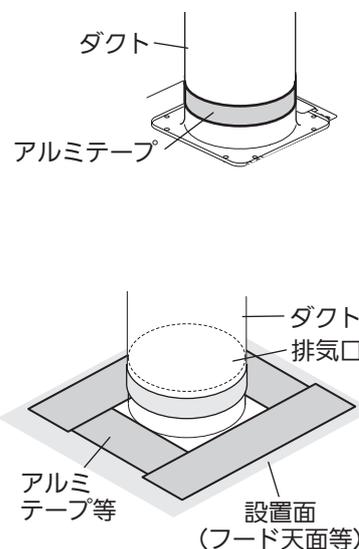


5 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

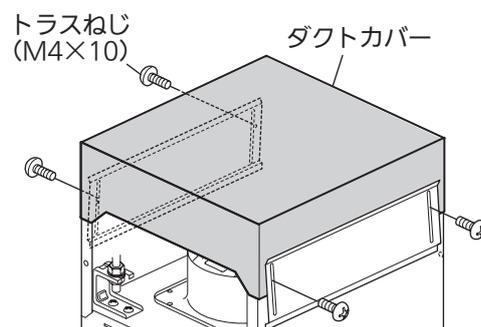
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面 (製品天面等) が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転 (強運転) をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等 (現場調達品) で漏風防止処置をおこなってください。



6 ダクトカバーと本体を固定します。

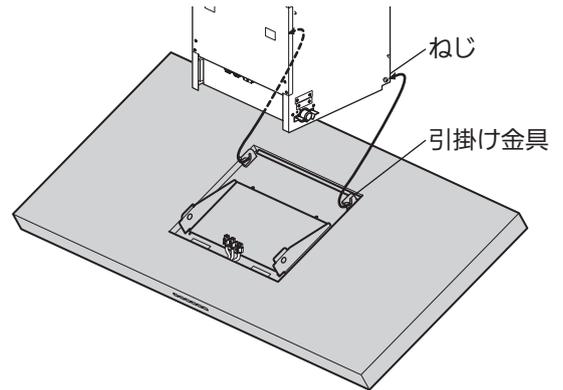
付属品のトラスねじ (M4 × 10) 4 本で左右各 2ヶ所を固定します。



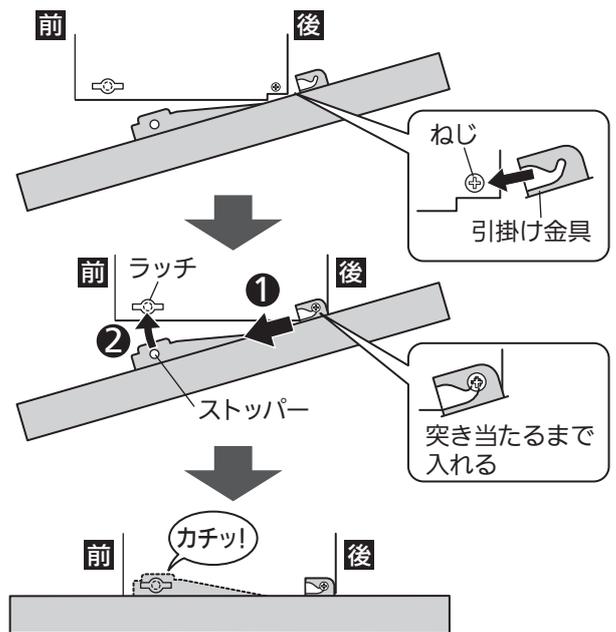
取り付けかた

7 フードを取り付けます。

1) フード後側の引掛け金具を本体後側のねじに引っ掛け、ねじが引掛け金具の溝の奥に突き当たるまでフードをスライドさせます(①)。

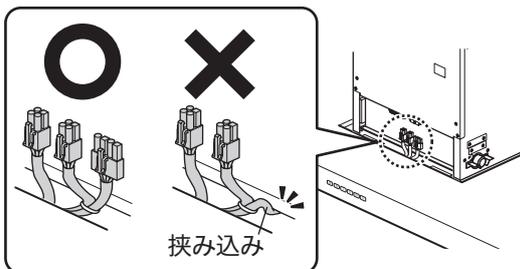


2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます(②)。



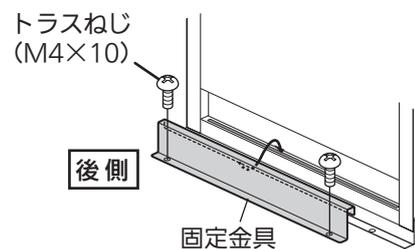
お願い

・フードを持ち上げる際、配線を挟まないようご注意ください。



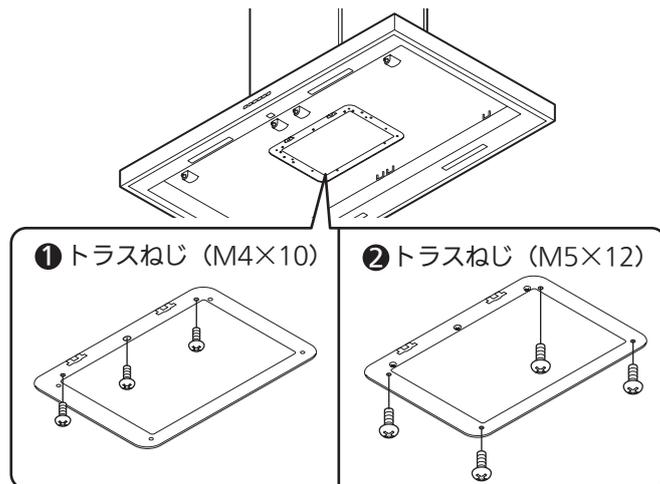
・ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。

3) 本体背面に付属品の固定金具を挿し込み、トラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



取り付けかた

- 4) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 3 本 (①)、
(M5 × 12) 4 本 (②) の順で、フード下側
から右図の各位置を固定します。

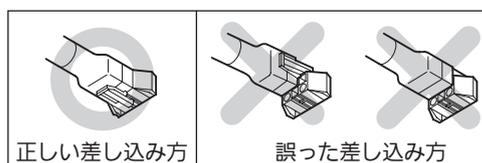
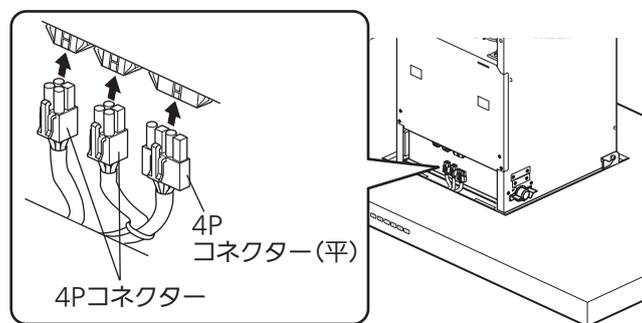


8 コネクターを接続します。

フードから出ている電気配線のコネクター 3 個
(4P・4P・4P 平) を本体のコネクターに接続
します。

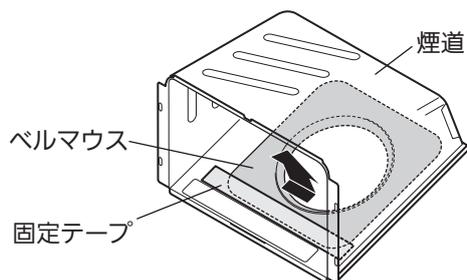
お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて
確実にロックしてください。接続が不十分な場合、
レンジフードが動作しない、発熱による故障などの
原因になります。



9 煙道を取り付けます。

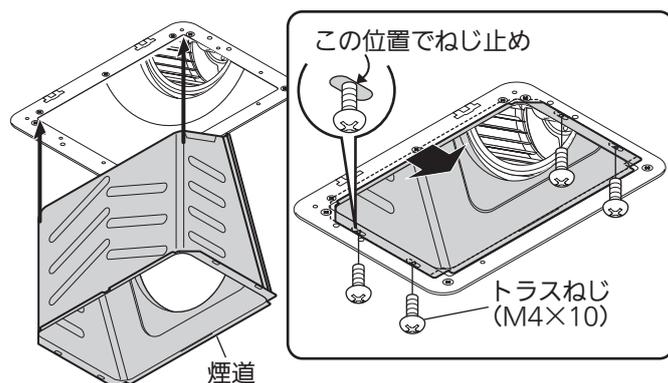
- 1) 付属品の煙道内の固定テープをはがし、
ベルマウスをはずします。



- 2) 煙道をフード開口部の前側 (スイッチ側) に
沿わせるように挿入したあと、ファン側に押
し込みます。

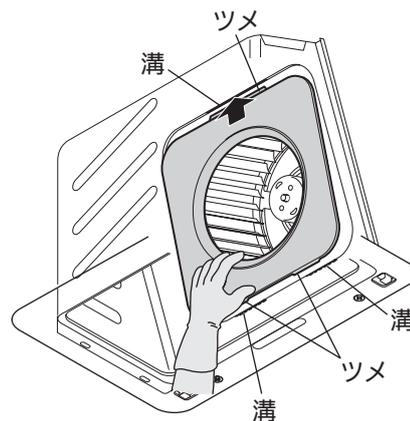
※ 煙道はキズをつけないよう、ゆっくりと差し
入れてください。

- 3) トラスねじ (M4 × 10) 4 本でフードに固定
します。



取り付けかた

10 ベルマウスを取り付けます。
ベルマウス上端のツメを本体の溝に差し込んでから、やや下方にずらして下端のツメを溝に入れます。



11 煙道枠、オイルパック、整流板を取り付けます。
「3. フード・本体の準備」(11 ページ) で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

5. 電気配線

警告



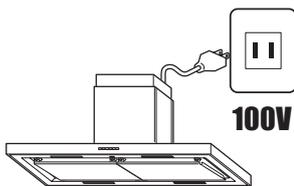
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

1 アース (D 種接地工事) を取ります。
※アース線は取り付け作業側にて手配します。

2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ・電源は専用のコンセント (2 極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを設けてください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、天井補強枠に設置してください。
(「2. 取付準備」手順 1 (10 ページ) 参照)

取り付けかた

6. 運転準備

- 横ふたは左右同一品です。また、前ふた・後ふたも同一品となります。
- 横ふたを先に取り付けてください。

お願い

- ・ 取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。

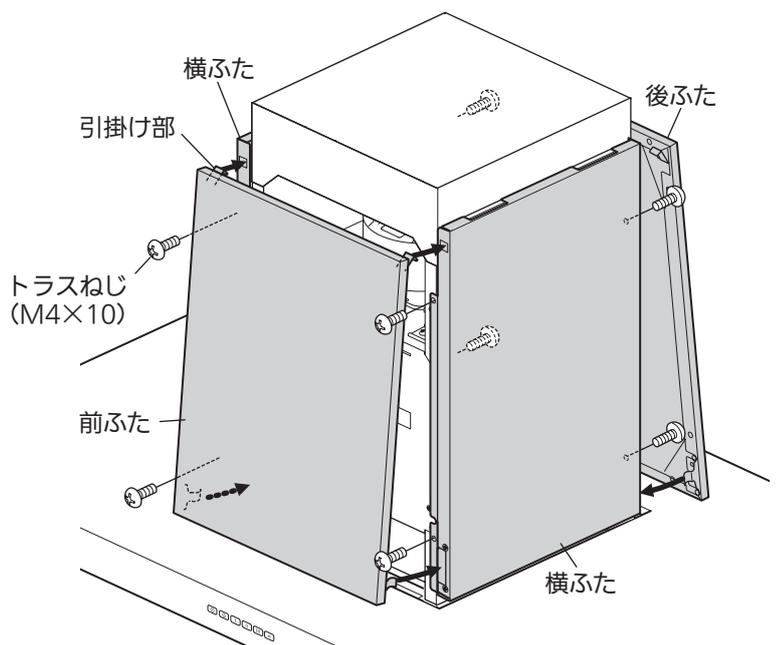
1 横ふたを取り付けます。

「■本体の準備」手順 2 (12 ページ) はずしたトラスねじ (M4 × 10) 各 4 本で横ふたを本体側面に取り付けます。

2 前ふた・後ふたを取り付けます。

前ふた左右上端の引掛け部を横ふたの穴に差し込み、下部のツメを押し込んで取り付けます。

※後ふたも同じ要領で取り付けます。



※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のエアキャップをもとの状態に取り付けてください。

取り付けかた

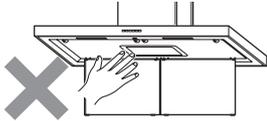
7. 試運転

**注意**



接触禁止

● 運転中は、指や物を絶対に
入れないこと
けがをするおそれがあります



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので
十分確認してください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

